

うおがたせんこくがどき  
魚形線刻画土器



△魚形線刻画土器

魚形線刻画土器は、昭和 47 年（1972）8 月、山ノ神遺跡で発見された。

山ノ神遺跡は、荒船周辺の東北方の水田中と残丘上に存在する。

ここに描かれた魚の種類については、一部にシュモクザメという説もあるがはっきりとしない。

縄文時代に魚形を描いたものは、漁撈活動の一端を示す貴重な資料である。